

平成12年度電源立地促進 功労者表彰

森総理より表彰を受ける
細川義雄志賀町長（石川県）



第十九回電源立地促進功労者表彰が、七月二十七日、内閣総理大臣官邸で行われました。この表彰制度は昭和五十六年に設けられ、電源立地に特に功労があつた地方公共団体の長などを、内閣総理大臣および通商産業大臣が表彰する

ものです。

平沼赳夫通産大臣は冒頭の式辞で、①環境保全や効率化の要請に対応しつつ、エネルギーの安定的な供給を実現していくことが重要である②原子力発電は燃料供給の安定性に優れ、地球温暖化など、環境問題への対応という面で高い期待が寄せられる③揚水発電は真夏のピーク需要に対応し、負荷平準化に資する

重要な電源である、などの電源立地の重要性を述べました。

森総理大臣は、日本の目指すべき姿を「安心して夢を持って暮らせる国家」「心の豊かな美しい国家」「世界から信頼される国家」とした上で、原子力発電をはじめ

○平成12年度の表彰者

内閣総理大臣表彰

石川県・志賀町長

細川義雄（ほそかわ・よしお）さん
※北陸電力志賀原子力発電所1・2号機の新設と増設に多大の貢献。

通商産業大臣表彰（3人）

元青森県・東通村議会議長

伊勢田芳美（いせだ・よしみ）さん
※東北電力東通原子力発電所1号機の新設に多大の貢献。

長野県・南相木村長

依田吉郎（よだ・よしろう）さん
※東京電力神流川発電所（揚水）の新設に多大の貢献。

元静岡県・浜岡町議会議長

沖千壽男（おき・ちずお）さん
※中部電力浜岡原子力発電所5号機の増設に多大の貢献。

とする電源開発の推進に、卓越した指導力をもって尽力した四人の表彰を受けられた方に感謝する、

とあいさつ。表彰式終了後は表彰者の家族を交えての記念撮影にに応じていました。



森総理大臣と平沼通産大臣を中央に記念撮影。黄色いリボンの方々が受賞者。前列左から、依田ご夫妻、細川氏ご令嬢と細川氏。右から沖ご夫妻と伊勢田ご夫妻。

電源過疎地域等企業立地促進 事業費補助金のご案内

電源地域に立地し、次の要件を満たす企業に対して、当センターを通じ補助金を交付します。

補助要件

【建物】

●特定地域に工場・事業所等を新設または増設すること（建物の建設が前年度に完了したもの、または当該年度に完了するもの）。

【補助対象物】

●生産または営業用の施設・設備であること（建物、建物付属設備、構築物、機械装置・備品等で、当該年度中に着手・完了するものが対象）。

●必ず企業（申請者）が所有していること。

●年二回募集があるため、着手日（当該工場・事業所等に最初に搬入据付された日）が、四月一日以降九月三十日までのものは上期案件、十月一日以降翌三月十日までのものは下期案件とする。

【雇用】

●雇用保険の一般被保険者が五人以上増加すること。

特定地域と補助金交付限度額

次の三つのうち、最も低い額を交付限度額とし、その範囲内で交付額を決定します。

①補助対象物の整備に要する費用の合計。

②表中の地域区分および増加雇用者数ごとに設定した面積当たりの単価と、建物の床面積とを乗じて得た額。

③表中の地域区分および増加雇用者数ごとに設定した上限額。

表中の電源地域（A地域・B地域・C地域）

地域区分	増加雇用者数	面積当たりの単価	上限額
A地域	5～9人	7,500円/㎡	1億円
	10～19人	10,000円/㎡	1.5億円
	20人以上	12,500円/㎡	2億円
B地域	5～9人	2,500円/㎡	0.5億円
	10～19人	3,750円/㎡	1億円
	20人以上	5,000円/㎡	1.5億円
C地域	5～9人	1,250円/㎡	0.3億円
	10～19人	2,500円/㎡	0.5億円
	20人以上	3,750円/㎡	1億円

※A地域とは、原子力地点をその区域とする市町村、およびその周辺市町村の区域をいいます。
 ※B地域とは、火力・水力地点のうち、要対策重要電源または開発促進重要地点をその区域とする、市町村およびその周辺市町村の地域をいいます。
 ※C地域とは、特定地域のうちA地域・B地域以外の地域をいいます。
 ※核燃料サイクル地域についての面積当たりの単価は、A地域のそれに1.2を乗じて得た額（それぞれ9,000円/㎡、12,000円/㎡、15,000円/㎡）を用いるものとします。

域・C地域）に該当する全国七〇〇余りの市町村の最新資料を当センターに用意していますのでご相談ください。

募集は市町村を通じて上期・下期の年二回で、二月・八月頃に行っています。

申し込みの際には市町村の紹介が必要となりますので、当該市町村へお問い合わせください。

申し込みに必要な書類は、当センターまたは市町村に用意しています。

問い合わせ
 (財)電源地域振興センター
 企業立地部
 TEL 03-55562-9750

エネルギープラザ 青森2000 10月25日開幕

十月二十五日から二十七日まで、青森県むつ市で、エネルギープラザ青森2000が開催されます。電源地域の関係者が一堂に会する年に一度の大イベントです。

□主催 青森県／(財)電源地域振興センター
 □後援 通商産業省資源エネルギー庁／東北通商産業局／むつ市／六ヶ所村／大間町／東通村

日程 10月25日(水)～27日(金)

日	プログラム	会場	開始時刻
25日	開会式	下北文化会館	17:00
	講演会（山根一眞氏）	下北文化会館	17:40
26日	まちづくり事例検討コース	むつグランドホテル	9:30
	検討会 研修コース	下北文化会館	9:30
	シンポジウム	下北文化会館	14:00
	まちづくり交流会	下北文化会館	18:00
27日	施設見学会	各見学施設	9:40



※「ふるさと情報」やお便りをお寄せください。
宛先:電源地域振興センター「地域のひろば」編集室
fax:03-5562-9802 mail:kouhou@div.dengen.or.jp

“おろちの火まつり”で 県境サミットの輪

島根県・横田町企画課 長尾有紀

“おろちの火まつり”はヤマタノオロチの故事にのっとった伝統の祭りです。巨大な“おろち”が口から火を吐き勇壮に踊り、最後には燃やされて魂を鎮められます。今年の祭りには県境サミットの仲間、鳥取県・江府町から地ビール「ブナの森から」の販売促進カー“うりまるくん”が参加しました。県境サミットは、鳥取・島根・広島・岡山の中国山地県境16市町村で構成する協議会で、「森林文化都市圏」の創出を目指して活動しています。「ブナの森から」は日本初の“水源トラスト地ビール”で、価格の一部は中国山地の森林を保全する活動の寄付金に充当されます。祭りの参加者は“おろち”の迫力と「ブナの森から」のさわやかなどごしに満足されていました。中国山地から“森林保全の輪”が全国に広がればいいなと思っています。

□問い合わせ:横田町企画課 0854-52-2111



“おろちの火まつり” 8月5日、島根県・横田町

能登中島演劇祭2000 10・11月のスケジュール

石川県・中島町 演劇の町振興事業団 赤坂利勝



能登中島演劇祭の10・11月のスケジュールをお知らせします。わたしたちの町は、「ドラマを観る、ドラマを創る」をキャッチフレーズに、演劇で町づくりに挑んでいます。自然と一体化した建築の「能登演劇堂」で、さまざまなパフォーマンスが繰り広げられます。宿泊施設や名所旧跡などの見所もたっぷりです。どうぞお出かけください。

- 10/25～11/3 無名塾「セールスマンの死」(仲代達矢主演)
- 11/12 大杉ミュージカルシアター「平和の島—広島の遺産」(ウエスタハウト演出)
- 11/19 石川県高校演劇連盟「いろはにほへとう」(高校生が書いた戯曲入選作品)

□問い合わせ:
演劇の町振興事業団 0767-66-2323

10月8日は“狐の夜祭り”

新潟県・高柳町総務課 大塚真佐子

“狐の夜祭り”は栃ヶ原に伝わる民話「藤五郎狐」に材を取り、住民の創意で作上げた素朴なお祭りです。町内の若者グループ「ゆめおいびと」と富山県でキツネの絵を描き続けている画家、古川通泰氏との出会いがきっかけで誕生しました。畳一枚ほどの大きさの油揚げを担いで、栃ヶ原から漆島まで、夕暮れの山道を、狐の面を着けちょうちんを提げて歩く行列は幻想的です。漆島に到着すると「キツネの舞い」が繰り広げられます。この踊りもグループのメンバーが作曲、振り付けをしました。お泊り、お食事、ご入浴は「じょんのび村」「新潟県立こども自然王国」をご利用ください。

□問い合わせ:高柳町地域振興課 0257-41-2233

